



Cisco 12404 ルータ DC 電源システムの 取り扱い手順

製品番号 : PWR-GSR04-DC-PDU=、PWR-GSR04-DC-PEM=、12000/4-DC-PEM=、
12000/4-DC-PDU=

このマニュアルでは、Cisco 12004 ルータで使用される DC PEM (パワー エントリ モジュール) および PDU (配電ユニット) の取り外しおよび取り付け手順について説明します。

マニュアルの内容

このマニュアルの内容は、次のとおりです。

- [要件および準備作業 \(p.2\)](#)
- [取り付けに関する注意事項 \(p.4\)](#)
- [DC PEM の取り外しおよび取り付け \(p.5\)](#)
- [PEM 取り付けのトラブルシューティング \(p.7\)](#)
- [DC PDU の取り外しおよび取り付け \(p.8\)](#)
- [PDU 取り付けのトラブルシューティング \(p.11\)](#)
- [準拠規格および安全に関する情報 \(p.12\)](#)
- [マニュアルの入手方法 \(p.14\)](#)
- [シスコ製品のセキュリティ \(p.16\)](#)
- [テクニカル サポート \(p.17\)](#)
- [その他の資料および情報の入手方法 \(p.19\)](#)



要件および準備作業

このマニュアルに記載されている手順を実行する前に、次の事項に従ってください。

- このセクションの安全に関する注意事項と静電気防止用の注意事項をお読みください。
- 取り付け作業を開始する前に、必要な工具および機器がすべて揃っていることを確認してください（「[取り付けに関する注意事項](#)」 [p.4] を参照）。
- 取り付け作業の際に、次の関連資料を用意しておいてください。
 - ルータ出荷時に同梱される『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco 12000 Series Router*』
 - 『*Cisco 12404 Router Installation and Configuration Guide*』

その他のマニュアルの入手方法については、「[マニュアルの入手方法](#)」 (p.14) を参照してください。

安全に関する注意事項

このマニュアルに記載されている作業を開始する前に、人身事故または機器の損傷を防ぐために、ここで説明する安全に関する注意事項を確認してください。

安全上の警告

誤って行うと危険が生じる可能性のある操作については、安全上の警告が記載されています。各警告文に、警告を表す記号が記されています。次に、安全に関する警告の例を示します。警告を表す記号と、人身事故を引き起こす状況が記載されています。



警告

「**危険**」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。機器の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。

静電破壊の防止

ルータ コンポーネントの多くは、静電気によって損傷を受けることがあります。適切な ESD 防止策を講じなかった場合、コンポーネントが完全に壊れたり、断続的な障害が発生したりする可能性があります。ESD による損傷の可能性を最小限に抑えるために、静電気防止用リストまたはアンクルストラップを肌に密着させて着用してください。

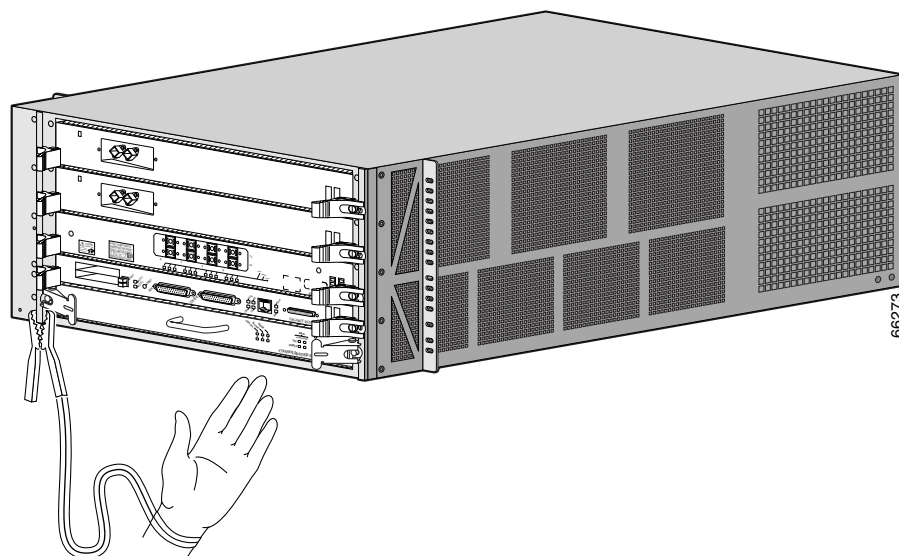


(注)

静電気防止用ストラップの抵抗値を定期的にチェックしてください。抵抗値は 1 ~ 10 MΩ でなければなりません。

このマニュアルの手順を実行する前に、静電気防止用ストラップを手首に巻き付け、シャーシまたは塗装されていないアースされた金属面に接続します（[図 1](#) を参照）。

図 1 静電気防止用リストストラップとシャーシの接続



取り付けに関する注意事項

DC PEM または PDU の取り外し / 取り付けを行う前に、次の注意事項をお読みください。

DC PEM に関する注意事項

DC PEM は活性挿抜 (OIR) 対応です。電氣的障害やシステムの損傷を引き起こすことなく、システムの電源を切らずに PEM の取り外しおよび取り付けを行うことができます。この機能により、システムがすべてのルーティング情報およびセッションを保持している状態で、DC PEM を交換できます。

**注意**

DC PEM は OIR に対応しているため、システムの動作を中断せずに交換できますが、PEM のない状態でシステムを数分間以上動作させないでください。

DC PDU に関する注意事項

DC PDU は OIR に対応していないため、システムの稼働中は交換できません。PDU を交換する前に、ルータの電源をオフにする必要があります。

**警告**

DC PDU を取り外して交換するには、システムの電源をオフにする必要があります。ネットワーク管理者などの適切なスタッフに、PDU を交換する間はすべてのルーティングトラフィックが停止することを知らせてください。

工具および機器

ファントレイアセンブリの取り外し / 取り付けを実行するには、次の工具および機器が必要です。

- 静電気防止用ストラップ
- 3/16 インチ マイナス ドライバ
- No.1 プラス ドライバ

DC PEM の取り外しおよび取り付け

DC PDU の取り外しおよび取り付けの手順は、次のとおりです（図 2 を参照）。

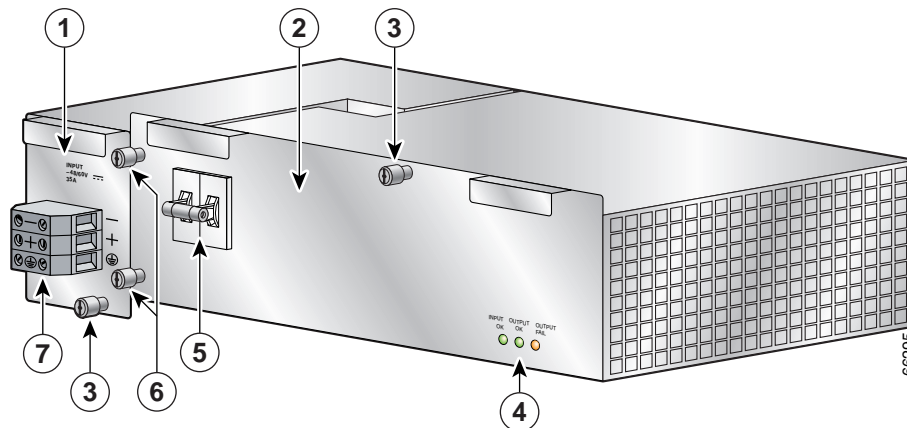
- ステップ 1** 故障した PEM の電源をオフにします。
- ステップ 2** DC 電源に割り当てられた回路ブレーカーの電源をオフにします。すべての LED が消灯していることを確認します。
- ステップ 3** PEM をシャーシに固定している 3 本の非脱落型ネジを緩めます。
- ステップ 4** フィンガー グリップを使用して PEM をシャーシから引き出します。



警告

DC PEM は約 11.0 ポンド（4.98 kg）の重量があるため、シャーシから取り外す場合は両手で支えてください。

図 2 DC PEM および PDU コンポーネント



1	DC PDU	5	オン/オフ スイッチ
2	DC PEM	6	PDU 非脱落型ネジ
3	PEM 非脱落型ネジ	7	PDU 端子ブロック
4	ステータス LED		



ヒント

故障した PEM を返品する場合は、交換用 PEM が入っていた箱に梱包します。

- ステップ 5** 交換用 PEM をベイに差し込み、バックプレーン コネクタに装着します。

電源スイッチがオフ（0）の位置にあることを確認します。

ステップ 6 3本の非脱落型ネジを締めて PEM をシャーシに固定します。

PEM を完全に装着し、非脱落型ネジを締めると、PEM とバックプレーン コネクタの電気接続が自動的に行われます。

ステップ 7 DC 電源に割り当てられた回路ブレーカーの電源をオンにします。

ステップ 8 PEM の電源をオンにします。

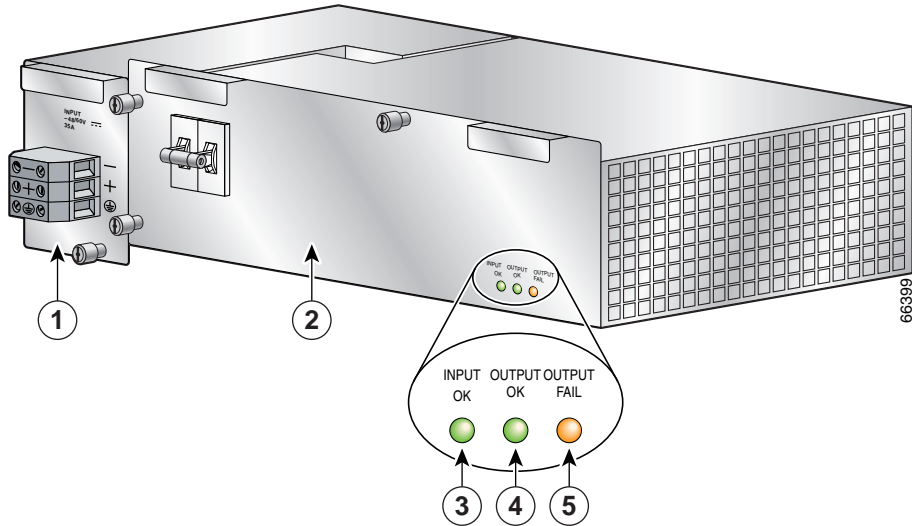
- グリーンの INPUT OK LED および OUTPUT OK LED が点灯します。
- オレンジの OUTPUT FAIL LED は消灯しています。

PEM が正常に稼働しない場合は、「[PEM 取り付けのトラブルシューティング](#)」(p.7)を参照してください。

PEM 取り付けのトラブルシューティング

PEM のインストレーションのトラブルシューティング手順は、次のとおりです（図 3 を参照）。

図 3 DC PEM のステータス LED



1	DC PDU	N/A	DC PDU
2	DC PEM	N/A	DC PEM
3	INPUT OK (グリーン)	点灯	DC PEM は電源オンの状態で正常に稼働しています。
4	OUTPUT OK (グリーン)	点灯	DC 電源は所定の範囲内です。
5	OUTPUT FAIL (オレンジ)	点灯	PEM 動作中に障害が発生し、シャットダウンされました。

ステップ 1 INPUT OK LED および OUTPUT OK LED が消灯している場合、または OUTPUT FAIL LED が点灯している場合は、次の点を確認します。

- PEM がベイに完全に装着されていて、非脱落型ネジがしっかりと締められている。
- DC 電源回路ブレーカーがオンになっている。
- 電源スイッチがオン (1) の位置に設定されている。

ステップ 2 ステップ 1 の各事項を確認しても問題が解決しない場合は、PEM を交換してください。

ステップ 3 PEM を交換しても問題が解決しない場合は、シスコのサービス担当者にお問い合わせください。

DC PDU の取り外しおよび取り付け

DC PDU は OIR に対応していないため、システムの稼働中は交換できません。PDU を交換する前に、ルータの電源をオフにする必要があります。

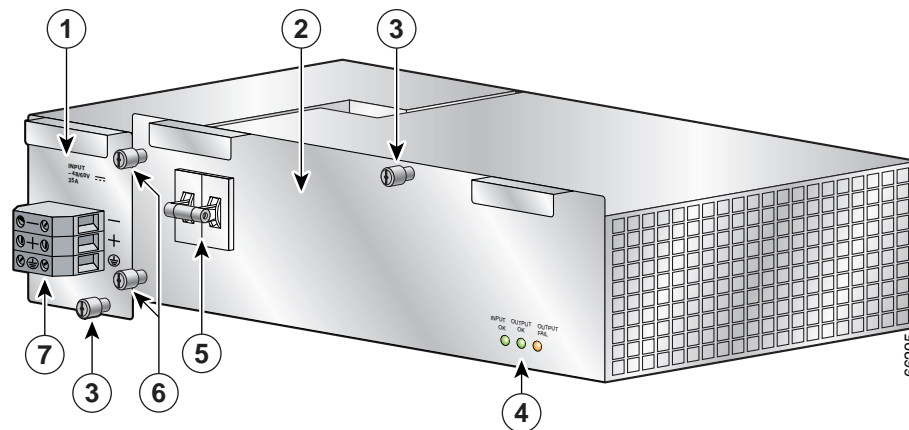


警告

DC PDU を取り外して交換するには、システムの電源をオフにする必要があります。ネットワーク管理者などの適切なスタッフに、PDU を交換する間はすべてのルーティングトラフィックが停止することを知らせてください。

DC PDU の取り外しおよび取り付けの手順は、次のとおりです (図 4 を参照)。

図 4 DC PEM および PDU コンポーネント



1	DC PDU	5	オン/オフ スイッチ
2	DC PEM	6	PDU 非脱落型ネジ
3	PEM 非脱落型ネジ	7	PDU 端子ブロック
4	ステータス LED		

ステップ 1 両方の PEM の電源をオフにします。

ステップ 2 DC 電源に割り当てられた回路ブレーカーの電源をオフにします。

両方の PEM のステータス LED すべてが消灯していることを確認します。

ステップ 3 端子ブロックのネジを緩めて、故障した PEM の DC PDU 端子ブロックからプラス線、マイナス線、およびアース線を取り外します。



注意

コードを取り外す前に、各線（プラス、マイナス、およびアース）の色を必ず確認してください。DC 電源配線用の色コードの標準がないため、どの電源線がプラス (+) およびマイナス (-) の端子ポートに接続されるのかを確認しておく必要があります。一般的に、グリーン（またはグリーンとイエロー）はアース線を示し、電源のリード線には、プラス (+) またはマイナス (-) のラベルが貼られています。これが常にあてはまるわけではないため、各線の極性を示す最も安全な方法は、この手順で線の色に注意し、色を確認することです。

**警告**

DC 電源線を取り外すときは、必ずアース線を最後に取り外してください。

ステップ 4 PDU および PEM をシャーシに固定している非脱落型ネジを緩めます。

ステップ 5 フィンガー グリップを使用して PDU および PEM をシャーシから引き出します。

**警告**

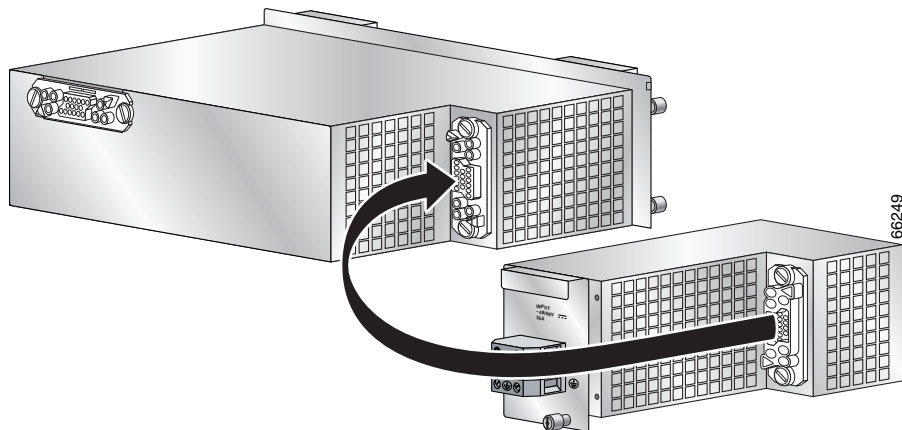
DC PEM および PDU は 11.0 ポンド (4.98 kg)。シャーシから取り外す場合は両手で支えてください。

PDU と PEM をテーブルなどの平らな面に置きます。

ステップ 6 PDU を PEM から取り外します。

ステップ 7 新しい PDU を PEM に接続します (図 5)。

図 5 DC PEM および DC PDU のコネクタ (DC PEM の背面図)



ステップ 8 PDU と PEM をベイに差し込み、PEM をバックプレーン コネクタに装着します。

電源スイッチがオフ (0) の位置にあることを確認します。

ステップ 9 非脱落型ネジを締めて PDU と PEM をシャーシに固定します。

PEM を完全に装着し、非脱落型ネジを締めると、PEM とバックプレーン コネクタの電気接続が自動的に行われます。

ステップ 10 次の順番で、アース線、プラス線、およびマイナス線を PDU 端子ブロックに接続します (図 6)。

a. アース線を再接続します。


警告

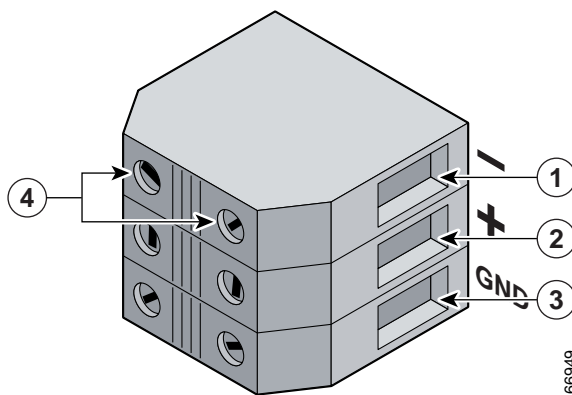
DC 電源線を再接続するときは、必ずアース線を最初に接続してください。

- b. プラス線を再接続します。
- c. マイナス線を再接続します。


注意

各線を接続するときは、必ずステップ 3 で作成したカラー コーディングのメモとラベルに従ってください。

図 6 DC PDU 端子ブロック



1	マイナス ポート	3	アース ポート
2	プラス ポート	4	端子ポート コネクタのネジ

ステップ 11 DC 電源に割り当てられた回路ブレーカーの電源をオンにします。

ステップ 12 両方の PEM の電源をオンにします。

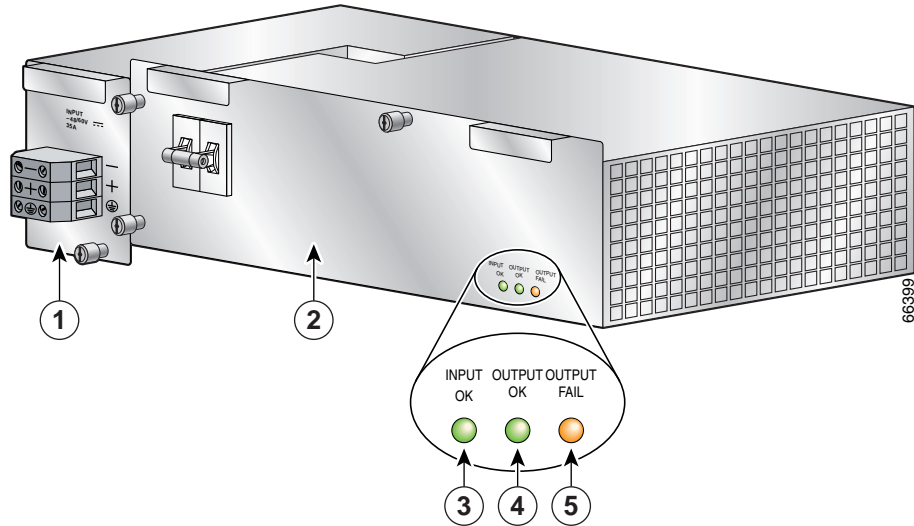
- グリーンの INPUT OK LED および OUTPUT OK LED が点灯します。
- オレンジの OUTPUT FAIL LED は消灯しています。

PEM が正常に稼働しない場合は、「PDU 取り付けのトラブルシューティング」(p.11) を参照してください。

PDU 取り付けのトラブルシューティング

PDU のインストレーションのトラブルシューティング手順は、次のとおりです（図 7 を参照）。

図 7 DC PDU、PEM、およびステータス LED



1	DC PDU		
2	DC PEM		
3	INPUT OK (グリーン)	点灯	DC PEM は電源オンの状態で正常に稼働しています。
4	OUTPUT OK (グリーン)	点灯	DC 電源は所定の範囲内です。
5	OUTPUT FAIL (オレンジ)	点灯	PEM 動作中に障害が発生し、シャットダウンされました。

ステップ 1 INPUT OK LED および OUTPUT OK LED が消灯している場合、または OUTPUT FAIL LED が点灯している場合は、次の点を確認します。

- PEM がベイに完全に装着されていて、非脱落型ネジがしっかりと締められている。
- DC 電源回路ブレーカーがオンになっている。
- DC 電源コードが PDU 端子ブロックにしっかりと装着されている。
- 電源スイッチがオン (1) の位置に設定されている。

ステップ 2 ステップ 1 の各事項を確認しても問題が解決しない場合は、PEM を交換してください。

ステップ 3 PEM を交換しても問題が解決しない場合は、シスコのサービス担当者にお問い合わせください。

準拠規格および安全に関する情報

ここでは、準拠規格および安全に関する情報を説明します。

各国語で記述された安全上の警告および準拠規格

各国語で記述された安全上の警告および認定規格の全リストについては、『*Regulatory Compliance and Safety Information for Cisco 12000 Series Router*』（78-4347-xx）を参照してください。

EMC に関する規制事項

FCC クラス A 規格との準拠

この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス A デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。住宅地でこの装置を使用すると、干渉を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザ側の負担で干渉防止措置を講じる必要があります。

シスコシステムズによる許可なしに装置を改造すると、装置がクラス A のデジタル装置に対する FCC 要件に準拠しなくなることがあります。その場合、装置を使用するユーザの権利が FCC 規制により制限されることがあり、ラジオまたはテレビの通信に対するいかなる干渉もユーザ側の負担で矯正するように求められることがあります。

装置の電源を切ることによって、この装置が干渉の原因であるかどうかを判断できます。干渉がなくなれば、シスコシステムズの装置またはその周辺機器が干渉の原因になっていると考えられます。装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合には、次の方法で干渉が起きないようにしてください。

- 干渉がなくなるまで、テレビまたはラジオのアンテナの向きを変えます。
- テレビまたはラジオの左右どちらかの側に装置を移動させます。
- テレビまたはラジオから離れたところに装置を移動させます。
- テレビまたはラジオとは別の回路にあるコンセントに装置を接続します（装置とテレビまたはラジオがそれぞれ別個のブレーカーまたはヒューズで制御されるようにします）。

CISPR 22

この装置は、CISPR 22/EN55022 クラス B 放射性および伝導性放射要件に準拠しています。

カナダ

準拠性

この装置は、カナダにおける ICES-003 に準拠するクラス A デジタル装置です。

欧州 (EU)

この装置は、ITE/TTE 装置として使用した場合に、EN55022 クラス B および EN55024 の標準規格に準拠します。また、電気通信事業施設およびその他の屋内施設といった設置環境における Telecommunications Network Equipment (TNE) に関する EN300386 に準拠します。

VCCI クラス A に関する警告 (日本)



警告

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を取るよう to 要求されることがあります。

マニュアルの入手方法

シスコ製品のマニュアルおよびその他の資料は、Cisco.com で入手できます。また、テクニカルサポートおよびその他のテクニカルリソースは、さまざまな方法で入手できます。ここでは、シスコ製品に関する技術情報を入手する方法について説明します。

Cisco.com

次の URL から、シスコ製品の最新資料を入手することができます。

<http://www.cisco.com/techsupport>

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com>

<http://www.cisco.com/jp>

シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスしてください。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

Product Documentation DVD

シスコ製品のマニュアルおよびその他の資料は、製品に付属の Product Documentation DVD パッケージでご利用いただけます。Product Documentation DVD は定期的に更新されるので、印刷資料よりも新しい情報が得られます。

Product Documentation DVD は、ポータブルメディアに収容された、技術的な製品マニュアルの総合的なライブラリです。この DVD を使用すると、シスコ製品の各種バージョンのハードウェアのインストール、ソフトウェアのインストール、設定、およびコマンドに関するガイドにアクセスし、HTML で技術マニュアルを表示できます。DVD を使用することで、インターネットに接続しなくてもシスコの Web サイトと同じマニュアルを参照できます。製品によっては、マニュアルの PDF バージョンも用意されています。

Product Documentation DVD は単独または購読契約で入手できます。Cisco.com (Cisco Direct Customer) に登録されている場合、Ordering ツールまたは Cisco Marketplace から Product Documentation DVD (Customer Order Number DOC-DOCDVD=) を発注できます。

Cisco Ordering ツール :

<http://www.cisco.com/en/US/partner/ordering/>

Cisco Marketplace :

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

マニュアルの発注方法

Cisco.com に登録されている場合、2005 年 6 月 30 日から、次の URL にある Cisco Marketplace の Product Documentation Store でシスコ製品のマニュアルを発注できます。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

シスコでは、Ordering ツールを使用したマニュアルの発注をサポートしています。

- Cisco.com (Cisco Direct Customer) に登録されている場合、Ordering ツールからマニュアルを発注できます。次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/en/US/partner/ordering/>

- Ordering ツールを使用したマニュアルの発注方法については、次の URL を参照してください。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpck/pdi.htm

- Cisco.com に登録されていない場合、製品を購入された代理店へお問い合わせください。

シスコ製品のセキュリティ

シスコでは、無償の Security Vulnerability Policy ポータルを次の URL で提供しています。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html

このサイトから、以下のタスクを実行できます。

- シスコ製品における脆弱性を報告する。
- シスコ製品のセキュリティ問題に対する支援を受ける。
- シスコからのセキュリティ情報を入手するために登録を行う。

シスコ製品に関するセキュリティ勧告および注意のリストが以下の URL で確認できます。

<http://www.cisco.com/go/psirt>

勧告および注意事項が変更された際に、リアルタイムで確認したい場合は、以下の URL から Product Security Incident Response Team Really Simple Syndication (PSIRT RSS) にアクセスできます。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_psirt_rss_feed.html

シスコ製品のセキュリティ問題の報告

シスコでは、安全な製品を提供することを目指しています。製品のリリース前に社内でテストを実施し、すべての脆弱性を迅速に修正するように努めております。お客様がシスコ製品の脆弱性を発見したと思われる場合は、次の PSIRT にご連絡ください。

- 緊急度の高い問題 — security-alert@cisco.com
緊急度の高い問題とは、システムが攻撃を受けている状態、または急を要する深刻なセキュリティの脆弱性を報告する必要がある状態を指します。それ以外の状態はすべて、緊急度の低い問題とみなされます。
- 緊急度の低い問題 — psirt@cisco.com

緊急度の高い問題の場合、次の電話番号で PSIRT に問い合わせることができます。

- 1 877 228-7302
- 1 408 525-6532



ヒント

お客様が第三者に知られたくない情報をシスコに送信する場合、Pretty Good Privacy (PGP) または PGP と互換性のある製品を使用して情報を暗号化することを推奨します。PSIRT は、PGP バージョン 2.x ~ 8.x と互換性のある暗号化情報を取り扱うことができます。

無効な暗号鍵または失効した暗号鍵は使用しないでください。PSIRT への連絡時には、次の URL にある Security Vulnerability Policy ページの Contact Summary セクションにリンクされている有効な公開鍵を使用してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.htm

このページのリンクに、現在使用されている PGP 鍵の ID があります。

テクニカル サポート

Cisco Technical Support では、評価の高い 24 時間体制のテクニカル サポートを提供しています。Cisco.com の Cisco Technical Support & Documentation Web サイトでは、広範囲にわたるオンラインでのサポート リソースを提供しています。さらに、シスコシステムズとサービス契約を結んでいる場合は、Technical Assistance Center (TAC) のエンジニアによる電話サポートも提供されます。シスコシステムズとサービス契約を結んでいない場合は、リセラーにお問い合わせください。

Cisco Technical Support & Documentation Web サイト

Cisco Technical Support & Documentation Web サイトでは、オンラインで資料やツールを利用して、トラブルシューティングやシスコ製品およびテクノロジーに関する技術上の問題の解決に役立てることができます。Cisco Technical Support & Documentation Web サイトは 24 時間ご利用いただけます。次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/techsupport>

Cisco Technical Support & Documentation Web サイト上のツールにアクセスする際は、いずれも Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。サービス契約が有効で、ログイン ID またはパスワードを取得していない場合は、次の URL で登録手続きを行ってください。

<http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do>



(注)

テクニカル サポートにお問い合わせいただく前に、Cisco Product Identification (CPI) ツールを使用して、製品のシリアル番号をご確認ください。CPI ツールへは、Documentation & Tools の下にある **Tools & Resources** リンクをクリックして、Cisco Technical Support & Documentation Web サイトからアクセスできます。Alphabetical Index ドロップダウン リストから **Cisco Product Identification Tool** を選択するか、Alerts & RMAs の下にある **Cisco Product Identification Tool** リンクをクリックしてください。CPI ツールは、製品 ID またはモデル名、ツリー表示、または特定の製品に対する show コマンド出力のコピー & ペーストによる 3 つの検索オプションを提供します。検索結果には、シリアル番号のラベルの場所がハイライトされた製品の説明図が表示されます。テクニカル サポートにお問い合わせいただく前に、製品のシリアル番号のラベルを確認し、メモなどに控えておいてください。

Japan TAC Web サイト

Japan TAC Web サイトでは、利用頻度の高い TAC Web サイト (<http://www.cisco.com/tac>) のドキュメントを日本語で提供しています。Japan TAC Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac>

サポート契約を結んでいない方は、「ゲスト」としてご登録いただくだけで、Japan TAC Web サイトのドキュメントにアクセスできます。

Japan TAC Web サイトにアクセスするには、Cisco.com のログイン ID とパスワードが必要です。ログイン ID とパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://www.cisco.com/jp/register/>

Service Request ツールの使用

オンラインの TAC Service Request ツールを使えば、S3 および S4 の問題について最も迅速にテクニカル サポートを受けられます（ネットワークの障害が軽微である場合、あるいは製品情報が必要な場合）。状況をご説明いただくと、TAC Service Request ツールが推奨される解決方法を提供します。これらの推奨リソースを使用しても問題が解決しない場合は、シスコの技術者が対応します。The TAC Service Request Tool is located at:

<http://www.cisco.com/techsupport/servicerequest>

問題が S1 または S2 であるか、インターネットにアクセスできない場合は、電話で TAC にご連絡ください（運用中のネットワークがダウンした場合、あるいは重大な障害が発生した場合）。S1 および S2 の問題にはシスコの技術者がただちに対応し、業務を円滑に運営できるよう支援します。

電話でテクニカル サポートを受ける際は、次の番号のいずれかをご使用ください。

アジア太平洋 : +61 2 8446 7411（オーストラリア : 1 800 805 227）

EMEA : +32 2 704 55 55

米国 : 1 800 553-2447

TAC の連絡先一覧については、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/techsupport/contacts>

問題の重大度の定義

すべての問題を標準形式で報告するために、問題の重大度を定義しました。

重大度 1 (S1) — ネットワークがダウンし、業務に致命的な損害が発生する場合。24 時間体制であらゆる手段を使用して問題の解決にあたります。

重大度 2 (S2) — ネットワークのパフォーマンスが著しく低下、またはシスコ製品のパフォーマンス低下により業務に重大な影響がある場合。通常の業務時間内にフルタイムで問題の解決にあたります。

重大度 3 (S3) — ネットワークのパフォーマンスが低下しているが、ほとんどの業務運用が機能している場合。通常の業務時間内にサービスの復旧を行います。

重大度 4 (S4) — シスコ製品の機能、インストレーション、基本的なコンフィギュレーションについて、情報または支援が必要で、業務への影響がほとんどまたはまったくない場合。

その他の資料および情報の入手方法

シスコの製品、テクノロジー、およびネットワーク ソリューションに関する情報について、さまざまな資料をオンラインおよび印刷物で入手できます。

- Cisco Marketplace では、さまざまなシスコの書籍、参考資料、マニュアル、およびロゴ入り商品を提供しています。Cisco Marketplace には、次の URL からアクセスしてください。
<http://www.cisco.com/go/marketplace/>
- Cisco Press では、ネットワーク、トレーニング、認定関連の出版物を幅広く発行しています。初心者から上級者まで、さまざまな読者向けの出版物があります。Cisco Press の最新の出版情報などについては、次の URL からアクセスしてください。
<http://www.ciscopress.com>
- 『Packet』は、シスコシステムズが発行するテクニカル ユーザ向けの季刊誌で、インターネットやネットワークへの投資を最大限に活用するのに役立ちます。『Packet』には、ネットワーク分野の最新動向、テクノロジーの進展、およびシスコの製品やソリューションに関する記事をはじめ、ネットワークの配置やトラブルシューティングのヒント、設定例、お客様の事例研究、認定やトレーニングに関する情報、および多数の詳細なオンラインリソースへのリンクが盛り込まれています。『Packet』には、次の URL からアクセスしてください。
<http://www.cisco.com/packet>
- 『iQ Magazine』は、シスコのテクノロジーを使って収益の増加、ビジネス効率の向上、およびサービスの拡大を図る方法について学ぶことを目的とした、シスコシステムズが発行する成長企業向けの季刊誌です。この季刊誌は、実際の事例研究や事業戦略を用いて、これら企業が直面するさまざまな課題や、問題解決の糸口となるテクノロジーを明確化し、テクノロジーの投資に関して読者が正しい決断を行う手助けをします。『iQ Magazine』には、次の URL からアクセスしてください。
<http://www.cisco.com/go/iqmagazine>
または次の URL でデジタル版をご覧ください。
<http://ciscoiq.texterity.com/ciscoiq/sample/>
- 『Internet Protocol Journal』は、インターネットおよびイントラネットの設計、開発、運用を担当するエンジニア向けに、シスコシステムズが発行する季刊誌です。『Internet Protocol Journal』には、次の URL からアクセスしてください。
<http://www.cisco.com/ipj>
- シスコシステムズが提供するネットワーク製品およびカスタマー サポート サービスについては、次の URL にアクセスしてください。
<http://www.cisco.com/en/US/products/index.html>
- Networking Professionals Connection は、ネットワークの専門家がネットワーク製品やネットワーク技術に関する質問、提案、情報をシスコの専門家および他のネットワーク専門家と共有するためのインタラクティブな Web サイトです。ディスカッションに参加するには、次の URL にアクセスしてください。
<http://www.cisco.com/discuss/networking>
- シスコシステムズは最高水準のネットワーク関連のトレーニングを実施しています。トレーニングの最新情報については、次の URL からアクセスしてください。
<http://www.cisco.com/en/US/learning/index.html>

このマニュアルは、『Cisco 12404 Internet Router Installation and Configuration Guide』と併せて利用してください。

CCVP, the Cisco Logo, and the Cisco Square Bridge logo are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn is a service mark of Cisco Systems, Inc.; and Access Registrar, Aironet, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, GigaStack, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, iQuick Study, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, Networking Academy, Network Registrar, Packet, PIX, ProConnect, RateMUX, ScriptShare, SlideCast, SMARTnet, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, and TransPath are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0612R).

Copyright © 2007, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。

シスコシステムズでは以下のURLで最新の日本語マニュアルを公開しております。
本書とあわせてご利用ください。

Cisco.com 日本語サイト

http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/

日本語マニュアルの購入を希望される方は、以下のURLからお申し込みいただけます。

シスコシステムズマニュアルセンター

<http://www2.hipri.com/cisco/>

上記の両サイトで、日本語マニュアルの記述内容に関するご意見もお受けいたしますので、
どうぞご利用ください。

なお、技術内容に関するご質問は、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。



シスコシステムズ株式会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先 (シスコ コンタクトセンター)

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-933-122 (通話料無料)、03-6670-2992 (携帯電話、PHS)

電話受付時間 : 平日 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

OL-12583-01-J